

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)和泉市いぶき野5丁目計画	階数	地上15F,地下1F
建設地	大阪府和泉市いぶき野	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	660 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2022年10月7日
敷地面積	6,700 m <sup>2</sup>	作成者	石川 美紗
建築面積	1,586 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月7日
延床面積	13,817 m <sup>2</sup>	確認者	安田 斉詞



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 81%

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

音環境	3.1
温熱環境	3.8
光・視環境	3.1
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.7
耐用性	2.9
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

水資源	2.2
非再生材料の	3.7
汚染物質	4.3

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	機能性を向上する設備機器を敷設し、温熱環境や建材の有害性に配慮した計画とすることで、長期的に良好な住環境を得られるよう努める。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地周辺部に緑地帯を設け、周辺地域に緑地景観を提供する
<b>LR1 エネルギー</b>	有効な採光・通風の確保のために、各住戸が外皮に二方向面するよう計画する	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮する

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0084

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)和泉市いぶき野5丁目							
	建設地	大阪府和泉市いぶき野							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			<b>B+</b>					
①	CO2削減			<b>4</b>					
②	みどり・ヒート アイランド対策			<b>2</b>					
③	建物の断熱性			<b>4</b>					
④	エネルギー削減			<b>4</b>					
⑤	自然エネルギー直接利用			<b>○</b>					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

## エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		